

# 新建築

SHINKENCHIKU:2005

5

創刊80周年





## ポーランド館

設計 Ingarden & Ewy, Architects  
施工 Holtmann Messe + Event, ZBiD, Wrocław, 新東通信  
グローバル・コモン4



コンピュータの3D技術によって生まれた外形は、ポーランドの伝統的な素材ウィッカーメッシュにより覆われている。

### ポーランドのハイ & ローテクのメタファ

「Notice the Beauty」という国を代表する思想に基づき、そのメタファとなる空間としてデザインした。ポーランド出身の作曲家フレデリック・ショパンと世界遺産の「ヴィエリチカ岩塩坑」に焦点をあてる。空間を構成するエレメントは、実験的なファサードのウィッカーとシンボリックな断面である。それは、国の北側にあるバルト海から「ヴィエリチカ岩塩坑」が位置する南側の山までをメタファとした断面である。上部は円形劇場とし、国の自然や文化のマルチメディア表現が行われる。

ファサードは、曲線状のスチールフレームをウィッカー（籐の一種による網織工）で覆い、複雑な三次元曲面を形成している。コンピュータが生成するハイテクの外形は、現代の先進技術国というポーランドの



ポーランドの地形をメタファとした断面とファサードのウィッカーのスタディ。

イメージをつくる一方で、音楽と芸術と工芸という歴史を育んでいる。本館に使用された素材はエコロジカルで、省エネルギーで、会期後再利用される。

(クリストフ・インガルテン/抄訳:編集部)

## スイス館

設計 SABARCHITEKTEN  
施工 NUSSLI SCHWEIZ  
グローバル・コモン4

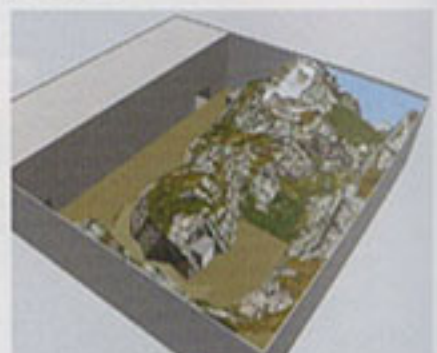


「山」の内部。来館者に手渡されるスイス軍の懐中電灯には、音声ガイドが組み込まれており、展示に関する音声ガイドが流れる仕組みとなっている。

### 「山」 - The Mountain -

4つのモジュールを利用し、1,300m<sup>2</sup>におよぶスイス館は「山」をテーマとしている。スイス文化の象徴である「山」の内側と外側で自然と文化、両方のモチーフを展示し、ひとつの単位として構成している。この展示エリア内の建築物は、三角構造による閉鎖式の木製梁で骨組みをつくり、その上を印刷した羊皮紙で覆う方法でつくられた。山の表面に描かれた模様は、モニカ・シュテューダーとクリストフ・ヴァン・デン・ベルグというふたりのアーティストによってデザインされ、コンピュータによって生成されている。

来館者は狭い通路を通過して山の内部へと導かれる。山の内部は、透明な5つのカプセル状の展示ルームに分かれており100余りの展示アイテムが、テーマに沿って配置さ



展示空間のCGイメージ。

れる。スイス館の建設にあたっては、スケジュールに間に合わせるのと同時に、製造過程における品質管理を容易にするという観点からスイスで部材を揃え、日本に輸送して組み立てる方法が採用された。



「海の波間」をモチーフとした展材のファサード。

## クロアチア館

設計 3LHD  
施工 安藤建設  
グローバル・コモン3

### 「イベント・スペース」としてのクロアチア館

クロアチア館では塩田をモチーフにした展示を行っている。塩田はクロアチアが辿ってきた歴史や地理にとって重要な要素であり、「一滴の水、一粒の塩」という館のコンセプトには海から塩を得るという行為に込められたわれわれの自然観が投影されている。

ここでは博覧会協会からクロアチアに割り当てられたモジュール(18×27×11m)に、3つの部屋と5つの場面から構成される展示を計画した。観客が最初の部屋に入ると両側の群青の壁にアドリア海の塩田の風景が映し出され、観客は塩田の雰囲気を感じる。そして主展示室に繋がる扉



3次元曲線で構成されたショップスペース。

が開くとそこには塩に囲まれた木道が用意されており、ここで観客はインタラクティブ映像システムによりつくり出される浅い海を渡り、主展示室の奥へと至る。主展示室の奥の床は大型エレベータとなっており、観客はエレベータの上昇に伴い海底から上空へと誘われ、それにあわせて潮は引き主展示室の床には強い光に照らし出されたクロアチアの典型的な塩田が姿を現す。観客はエレベータによりギャラリーレベルに到達すると塩田を眺むように広がり、下の塩田全体に映写されるクロアチアの空撮映像を鑑賞する。

最後の部屋は3次元曲面で構成されたショップスペースとなっており、クロアチアの青果市場の喧騒とともに、観客にやわらかで有機的な印象を与える。館のファサード上部には膜でできた白いベルトがうねりながら水平に張られ、キャンピー下に群青のガラスを配することで海の波間をイメージしている。(3LHD 田名後康明氏)



「塩田」をイメージした主展示室。床面をスクリーンとしてクロアチアの空撮映像作品が映写される。